



商 団 連

第334号

平成26年1月1日
1部 50円

発行所
全国卸商業団地協同組合連合会
東京都港区虎ノ門1-8-10
セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)
電話 03-3591-1251(代表)
編集発行人 平澤和人

年 頭 所 感

全国卸商業団地協同組合連合会

会長 尾池 良行



平成26年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

安倍新政権におけるアベノミクスの三本の矢が矢継ぎ早に放たれ、円安・株高の流れが進行し、企業心理や消費者マインドは改善しておりますが、今年の4月から実施される消費税率の8%への引き上げにより消費の後退も懸念されます。いずれにしても早期にデフレを脱却し、強い日本経済

を取り戻すことが期待される一年になると思われま

年 頭 所 感

中小企業庁

長官 北川 慎介



平成26年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

安倍政権発足後、長引くデフレからの早期脱却と経済再生を図るため、政府は「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」を一体として強力に推進してまいりました。その結果、実質GDPが4四半期連続でプラス成長となるなど日本経済は着実に向上しております。景気回復の実感も、少しずつ中小企業・小規模事業者や地方経済に波及し始めております。この実感をより多くの皆様へ届けられるよう、中小企業庁としては、被災地の復旧・復興支援、小規模事業者

を取り戻すことが期待される一年になると思われま

を取り戻すことが期待される一年になると思われま

また、卸商業団地は、地域の様々な業種の中小卸売業が集積した地域の流通拠

点として地域社会への商品の安定供給の一翼を担って

た施策展開、日本再興戦略

「被災地の復旧・復興なくして、日本の再生なし」

中小企業庁として、まず取り組むべき課題は、被災地の1日でも早い復旧・復興です。景気回復の兆しを

復興の加速へつなげていかなければなりません。特に復興が遅れている地域の中小企業等グループの施設等

の復旧・整備を支援する中小企業等グループ補助金については、これまで累計で549グループ、国費で2、820億円

の支援を実施してきております。着実に進んでいる産業の復興の動き

廃合、流通の中抜き、短絡化が進み厳しい状況が続いて

卸売業を取り巻く環境は大きく変化し、現在は人口減少、少子高齢化、国内市場の減少、卸売業の再編

を確実なものとするため、被災した中小企業・小規模事業者の復旧・復興の取組を引き続き支援してまい

第二に、全国の中小企業の約9割を占める小規模事業者に焦点を当てた施策展開を図ってまいります。既

に、昨年の通常国会において8本の関連法案を一括で改正した「小規模企業活性化法」が成立いたしました。

平成26年度当初予算案においては、日本政策金融公庫による小規模事業者向けの貸付制度である「マル経融資」の貸付上限額を1、500万円から2、000万円に拡大しております。さ

らに、現在、小規模事業者の振興のための「基本法」を次期通常国会に提出することを

目指しております。

地域における重要な経済主

それぞれの実現を目指し、新たなチャレンジを行う中小企業・小規模事業者を応援します。具体的には、秋の税制改正大綱で、中小企業投資促進税制の拡充・延長など大胆な減税措置を決定するとともに、平成25年度補正予算案では、「ものづくり補助金」について、1、400億円を措置し、対象をものづくり分野に加

最後にになりましたが、会員組合並びに組合員の皆様のお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

体である小規模事業者を施策の中心に据え、今後もより一層、小規模事業者によるニッチな顧客への販路開拓や、地域の需要に応じた新商品・新サービスの開発等を応援してまいります。

また、特に小規模事業者の多い商店街に対する支援として、平成25年度補正予算案では225億円を措置しております。引き続き小規模事業者への支援に鋭意取り組んでまいります。

第三に、「日本再興戦略」で掲げた3つの目標、①開業率・廃業率を米国・英国レベル(10%台)に引き上げ

②2020年までに黒字の中小企業・小規模事業者を増

③2013年からの5年間で新たに1万社の海外展

開

開

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日

に、平成26年1月1日



平成26年 元旦

年 頭 所 感

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

理事長 高田 坦史



新年、明けましておめでとうございます。平成26年の新春を迎えるにあたり、年頭の御挨拶を申し上げます。中小機構も、平成16年の設立以来、10回目の新春を迎えることができました。これもひとえに中小企業の皆様や地域の皆様、関係機関の皆様のおかげによる賜物と、感謝申し上げます。

安倍政権が発足して一年が過ぎ、大胆な金融政策という第一の矢、機動的な財政政策という第二の矢の効果により、大企業を中心とする企業業績の回復を通じて、国民、そして国際社会において、日本経済の先行きに対する「期待」が高まっております。

我が国経済が、今後も持続的な発展をしていくためには、第三の矢である新たな成長戦略(日本再興戦略)の着実な実行により、「期待」を「実体」へと変えていくことが必要です。その原動力となるのは、全企業数の99.7%を占め、我が国経済を支える中小企業の皆様に他なりません。中

小機構としても、日本経済を確かな成長軌道に乗せるため、再興戦略の実現に全力で当たっております。これは、「日本再興戦略」においては「中小企業・小規模事業者の革新」が明確に位置づけられ、①開業率の10%台への向上、②黒字企業の倍増、③新たに1万社の海外展開の実現という目標が示されています。チャレンジングな目標ではありますが、怯まずに取り組み覚悟です。このため、①起業支援ファンドの組成促進、インキュベーション施設を通じた創業・ベンチャー支援、創業費用の事業者への補助等を通じた創業支援の強化、②中小企業の皆様への的確な相談・助言、専門家派遣、販路開拓、人材育成等の各種支援を通じて中小企業の経営基盤の強化と黒字率の促進、③海外展開に潜在力のある中小企業の発掘、海外企業とのマッチングイベントの開催、海外展開の実現可能性調査等を通じて海外展開の促進を図ります。

本年の新たな取組みの一例として、ウェブマッチングサイト「J-Connect」(ジェクトック)を4月に開設し、ものづくり産業を支える優秀な中小企業の技術・製品と国内の大企業等のニーズとをネットや専門家を介してマッチングすることにより、新たな販路開拓や事業連携を強力に促進することとしています。さて、近年、国の中小企業政策は大きな転換期を迎えており、今までは必ずしも十分に光の当たっていなかった「小規模事業者」に焦点が当てられてきており、現在、中小企業政策審議会において小規模事業者支援のための「基本法」の制定等に向けた検討が進められているところです。当機構では、これまでも小規模事業者の退職金制度とも言える小規模企業共済や中小企業大学校による支援人材の育成等に取り組みで参りましてが、今後は小規模事業者支援の取組を抜本的に強化していくつもりです。具体的な取組についてはこれから検討を進めていく予定です。まず始めに二つのことに取り組みたいと考えています。

一つ目は、様々な中小企業支援施策を全国の小規模事業者一人ひとりに知って頂くためのお手伝い、存在しないことと変わりはあっても、三億数十万の小規模事業者に支援施策をまず

知って頂き、さらに利用頂くためには、ネットの活用も含め、これまでとは全く違ったアプローチが必要です。全国の地域支援機関との連携を強化しながら、お客様に支援情報を「お届け」する仕組み作りに取り組みつもりです。

二つ目は、ITの活用による新たなビジネスチャンス獲得のお手伝いです。今までは手が届かなかった全国・海外の市場も、ネット

の力を借りれば小規模事業者も比較的容易に開拓することが可能となりました。その一方、こうしたITの活用によって取れば、小規模事業者にとっては一層厳しい競争環境となることも懸念されます。そのため、eコマースへの取組をはじめとしたITの一層の活用に向け、小規模事業者や支援機関向けの各種支援を、今後積極的に進めたいと考えております。

当機構は本年4月から、第二期の中期計画期間に入ります。人口減少・高齢化、海外との競争激化、IT技術の発達等の、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は大きく変化しております。そうした構造変化を踏まえつつ、これからの5年間、新たな中期計画の下で、「東日本大震災の復興支援」、「販路開拓支援」、「事業者の新興代替の促進」(ものづくり連携支援)、「海外展

開支援」などを大きな柱として、積極的な事業展開を進めていく予定です。前例にとられない柔軟な発想で、お客様第一の原則に立ち返り、より多くの皆様のご期待に応えられるよう尽力して参ります。

最後になりましたが、皆様方におかれましては、この一年が希望に満ちた躍進の年にありますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ど着実に成果を上げることができました。商工中金としましては、引き続き皆さまからの相談に対して、懇切丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能を發揮に全力を挙げ取り組み改善はもとより、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等をお取引先へ皆さまが抱える経営課題、設備投資を取り組みに対し、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともに成長してまいりたいと思っております。

「中小企業」の「中小企業」による、中小企業のための金融機関として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、全国卸商業団地協同組合連合会並びに会員組合、組合員の皆様のご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

開支援」などを大きな柱として、積極的な事業展開を進めていく予定です。前例にとられない柔軟な発想で、お客様第一の原則に立ち返り、より多くの皆様のご期待に応えられるよう尽力して参ります。

最後になりましたが、皆様方におかれましては、この一年が希望に満ちた躍進の年にありますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ど着実に成果を上げることができました。商工中金としましては、引き続き皆さまからの相談に対して、懇切丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能を發揮に全力を挙げ取り組み改善はもとより、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等をお取引先へ皆さまが抱える経営課題、設備投資を取り組みに対し、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともに成長してまいりたいと思っております。

年 頭 所 感

商工組合中央金庫 代表取締役社長 杉山 秀二



平成26年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し上げます。昨年の御挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は政府の経済政策への期待から年初より円安・株高が進行し、消費者マインドの改善や大型補正予算の効果により、個人消費や公共投資を中心に持ち直しの動きとなりました。その後は、日本銀行の金融緩和を受け、円安効果や海外経済の回復により輸出環境が改善したことから、企業の生産活

動も次第に活発化しました。当金庫の「中小企業月次景況観測」によると、個人消費の盛り上がりや復興投資に牽引されて中小企業の景況感も持ち直しつつあり、10月の景況判断指数は好転・悪化の境目となる50を6年7ヵ月ぶりに上回りました。ただし、仕入価格の上昇を販売価格へ転嫁が進まない中小企業も多く、先行きに対する不透明感は残っております。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組み中小企業の皆さまや、テ

フレ不況等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能を發揮に取り組みました。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万7千件、2兆1千億円を超え、これを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、15万1千件、9兆円を超える規模となりました。こうした中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持、経済の安定に大きく貢献することができました。

また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、昨年4月に事業規模を新たに1兆円追加するなど支援内容を拡充・発展させた成長・創業支援プログラムを活用し、全力でサポートしてまいりました。同プログラムは、累計実績で1万2千件、7千億円を超えるな

開支援」などを大きな柱として、積極的な事業展開を進めていく予定です。前例にとられない柔軟な発想で、お客様第一の原則に立ち返り、より多くの皆様のご期待に応えられるよう尽力して参ります。

最後になりましたが、皆様方におかれましては、この一年が希望に満ちた躍進の年にありますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ど着実に成果を上げることができました。商工中金としましては、引き続き皆さまからの相談に対して、懇切丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能を發揮に全力を挙げ取り組み改善はもとより、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等をお取引先へ皆さまが抱える経営課題、設備投資を取り組みに対し、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともに成長してまいりたいと思っております。

「中小企業」の「中小企業」による、中小企業のための金融機関として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、全国卸商業団地協同組合連合会並びに会員組合、組合員の皆様のご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

開支援」などを大きな柱として、積極的な事業展開を進めていく予定です。前例にとられない柔軟な発想で、お客様第一の原則に立ち返り、より多くの皆様のご期待に応えられるよう尽力して参ります。

謹 賀 新 年

平成二十六年 元旦

全国卸商業団地協同組合連合会 商 団 連 福 社 共 済 会

会長 池井正 原員 一
 副会長 尾福小滝 栗職
 専務理事 行弘史 夫真同
 良 芳幹
 目家戸 夏氏神
 潔一厚

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 鶴田 欣也



新年、明けましておめでとうございませう。

我が国経済は長く続いたデフレからの脱却をうかがう局面に入ってきましたが、中小企業は、電気料金、燃料・原材料等の高騰に伴うコスト増により、収益状況が依然として低い水準に止まるなど景気回復の実感が伴わない厳しい状況が続いています。加えて、今年4月1日から実施される消費税率の8%への引上げにより、その影響に堪え、乗り越えられるのか先行きが見通せない経営環境にあります。

政府は、昨年9月から「経済の好循環実現に向けた政労使会議」を開催するなど物価の上昇とそれに見合う賃金上昇に向けた検討を行っています。私は、中小企業を代表して、この政労使会議に参画し、安倍総理に対して、中小企業の生産性向上に向けた設備投資や地域のインフラづくり等の促進、下請け代金の引上

げ等を強く要望するとともに、中央会として、ものづくり補助金等の施策をフルに活用して、中小企業が賃上げできる経営状態になるよう全力を尽くしていく旨申し上げました。今年も中小企業が下から上を跳ね返すような組合魂を持って果敢にリスクに挑戦する年にしていききたいと考えています。

私は、昨年の通常総会で3期目の会長職を務めることとなりました。トップセミナーや各プロツク会長会議等における会長同志の交流は、東日本大震災の発生後、絆の力を被災地に届ける際に大いに活かされたかと自負しています。間もなく震災発生から3年を迎えますが、被災地の組合と中央会の懸命な努力や山積する今後の課題への対応を思うと、全国中央会の責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。消費税率の引上げへの対応には、国内の消費動向や引上げ税率の転嫁状況を注視しつつ、

取得組んでいく必要がありませう。特に、中央会は、価格交渉力が弱い納入業者が割を食うことのないよう転嫁や表示カルテルの組成を図り、消費税の円滑な転嫁を成し遂げられるよう支援してまいります。また、昨年秋口から中小企業政策審議会小規模企業基本政策小委員会等で討議されてきた、小規模企業に焦点を当てた新たな法律が具体化します。小規模企業振興基本法(仮称)を早期に制定するとともに、必ず、小規模企業の連携・組織化支援を法文上に明確に位置づけてもらわなければなりません。小規模企業の開業率の向上には、女性が活躍している企業組合制度が効果的です。海外パートナーシップ等を活用した海外展開や黒字の小規模企業の増加を図っていくためには、企業間で連携していくことが効率的だと考えています。電力等エネルギーコスト、事業承継税制や個人保証等、

そのほかに大切な政策課題は数多く残されていますが、1人1人の絆の力を結集して事に当たれば、必ず打開の道は拓かれるものと確信をしています。2020年に東京において56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが開催されます。6年後には、震災復興も完了し、組合等連携組織に集う多くの皆様とともに笑顔で「おもてなし」をしようではありませんか。本年が皆様にとって、好機を実感できる素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。



平成26年 元旦

卸団地制度創設50周年記念式典

82団地・130名が出席し盛大に開催



講師 須田慎一郎氏

全国卸商業団地協同組合連合会主催、中小企業庁、中小企業基盤整備機構、商工組合中央金庫後援による卸団地制度創設50周年記念式典が、さる10月31日(木)、

東京・紀尾井町のホテルニユーオータニ「悠の間」において、会員82団地、130名が出席し、盛大に開催された。式典は、午後1時より開

催され、夏目 潔副会長の開会挨拶ののち、国歌斉唱、永年卸団地の発展に尽力された物故者に対する黙禱に続き、尾池良行会長より式辞が述べられた。

その後、来賓の紹介が行われ、式典には、中小企業庁 横田俊之次長、中小企業基盤整備機構 高田坦史理事長、商工組合中央金庫 杉山秀二代表取締役社長

が来賓として出席された。引き続き、団地功労者に対する表彰状の授与が行われた。

組合は16組合であり、代表者に中小企業庁の横田次長より授与された。個人の対象者は9名であり、それぞれに中小企業庁の横田次長より授与された。中小企業庁長官表彰の対象組合は16組合、個人は21名であり、それぞれ代表者に横田次長より授与された。中小企業基盤整備機構理事長表彰の対象組合は15組合、個人は30名であり、それぞれ代表者に高田理事長より授与された。商団連会長表彰の対象組合は19組合、個人は23名であり、それぞれ尾池会長より授与された。続いて感謝状の贈呈が行われた。初めに商工中金杉山社長から商団連尾池会長に感謝状の贈呈が行われた。次に、卸団地機能向上支援事業の審査委員等を歴任し、商団連並びに卸地組合の振興・発展に尽力された特別功労者3名に尾池会長より感謝状の贈呈が行われた。さらに、35組合及び商団連の役員を歴任された25名に対し、それぞれ代表者に尾池会長より感謝状の贈呈が行われた。その後、受賞者を代表して橋本昭一氏(協)八戸総合卸センター(理事長)より謝辞が述べられた。次に、来賓の中小企業庁 横田次長、中小機構高田理事長、商工中金杉山社長よりそれぞれ祝辞が述べられ、祝電披露ののち小正芳副会長より閉会の挨拶があり、式典を終了した。

当日は、団地対策議員懇話会の先生方も多数駆けつけてくれたため、先生方にも挨拶をお願いした。また、今回の式典開催にあたり、いろいろと準備をしていただいた実行委員のメンバー紹介も行われ、会場のあるところと和やかな歓談が行われた。最後は、氏家副会長の万歳三唱により、盛会のうちに祝賀会の幕を閉じた。

当日、祝賀会に出席した国会議員(本人のみ)は以下の通り。
【衆議院議員】
秋葉賢也、根本 匠、福田達夫、神山佐市、牧島かれん、盛山正仁、細田博之、逢澤一郎、小林史明、塩崎恭久、保利耕輔
【参議院議員】
中曽根弘文、小坂憲次、宮沢洋一、若林健太、太田房江、広田 一

講演終了後、会場をホテル「麗の間」に移し、記念祝賀会が開催された。尾池会長の開会挨拶の後、来賓からの祝辞が述べられた。初めに、全国卸商業団地対策議員懇話会会長、衆議院議員自由民主党幹事長代行の細田博之氏の祝辞に続き、中小企業庁の北川慎介長官からの祝辞が述べられた。その後、全国中小企業団体中央会の高橋晴樹事務理事の首領により乾杯が行われた。

記念式典実行委員は以下の通り。
委員長 尾永英明(協)ベイタウン尾道、川岸 義(高崎卸商社)、及川 亨(協)熊谷流通センター、湧川勝巳(協)東京ベ・マルシエ、手塚成男(協)横浜

マーチンチャタインジゲン タリ、工藤寛士(大阪船 場機織卸商団地)

制度創設50周年 記念表彰

この日の式典で表彰を受
けられた方々は以下の通り。

- 【経済産業大臣表彰】
- (組合) 協盛卸センター、(協)秋田卸センター、(協)須賀川卸センター、(協)栃木卸センター、(協)船橋総合卸商業団地、(協)松坂卸センター、(協)津卸商業センター、(協)泉州卸商業団地、(協)奈良県総合卸商業団地、(協)阪神総合卸商業団地、(協)松江卸センター、(協)津山卸センター、(協)福岡卸センター、(協)長崎卸センター、(協)鹿児島総合卸商業団地、(協)沖縄県卸商業団地
 - 以上16組合
 - (個人) 橋本昭一(協)八戸総合卸センター、(協)町田 貴(高知卸商センター)、(協)奥田潤一(協)仙台卸商センター)
 - 以上3名
- 【中小企業庁長官表彰】
- (組合) 協機織卸センター、青森卸売業、(協)山形流通団地、(協)酒田流通センター、(協)福島卸商団地、(協)土浦総合流通センター、(協)埼玉東卸売卸商団地、(協)越谷卸センター、(協)千葉総合卸商業団地、(協)木更津総合卸商業団地、(協)小田原卸商業団地、(協)横浜マーチンチャタインジゲン、(協)大阪南港鉄鋼流通、(協)加古川卸商団地、(協)山形総合流通センター卸商(個人)
 - 以上16組合

- 松田博之(協)盛岡卸センター、(協)氏家裕一(協)仙台卸商センター)、佐野元彦(協)秋田卸センター)、吉濱達三(高崎卸商社、(協)橋本嘉夫(協)川越パテニング)、溝口泰男(埼玉東卸売卸商団地)、山崎由三郎(協)越谷卸センター)、今関義彦(茂原卸商業団地)、上野達夫(協)横浜マーチンチャタインジゲン)、丸山正二(上田卸商業)、村木正一(協)津卸商業センター)、増山三雄(協)富山間屋センター)、良久久夫(協)新大阪センター)、(協)新大阪センター)、吉本信雄(大阪メルカト)、嶋田耕一(協)鳥取卸センター)、佐藤三平(岡山県総合流通センター卸)、青木秀夫(協)徳島流通センター)、橋 幹太(協)松山卸商センター)、谷岡源信(協)福岡卸センター)、小正芳史(鹿児島総合卸商業団地)、幸地克忠(沖縄県卸商業団地)
 - 以上21名
- 【中小企業基盤整備機構理事長表彰】
- (組合) 協機織卸センター、(協)八戸流通センター、(協)横手卸センター、(協)津若松卸商団地、(協)東京ベ・マルシエ、(協)川崎卸センター、(協)新大阪機織卸商団地、(協)新大阪センター)、(協)松江流通センター)、(協)岡山機工センター)、(協)食品料品卸センター)、(協)徳山卸商業団地、(協)延岡卸商業センター)、(協)有田焼卸商団地、(協)熊本流通団地)
 - 以上15組合
 - (個人) 田中善一(協)仙台卸商センター)、吉田和枝(協)秋田卸センター)、山本真一(会津若松卸商団地)、羽石光臣(宇都宮卸商業団地)、杉浦幸男(高崎卸商社)、都丸樹正(協)前橋間屋センター)、小谷野和博(協)川越パテニング)、中澤 実(協)熊谷流通センター)、永嶋良一(埼玉東卸売卸商団地)、秋葉吉秋(茂原卸商業団地)、高橋敦喜(上田卸商業)、鈴木清治(協)宮城機織卸センター)、岸江義朗(協)津卸商業センター)、須田 潔(協)富山間屋センター)、岡田一比古(大阪船場機織卸商団地)、平松良英(協)新大阪センター)、有井寛夫(大阪メルカト)、山野博司(奈良県総合卸商業団地)、道盛泰次郎(協)鳥取卸センター)、日笠晴夫(協)津山卸センター)、山本 勉(岡山県総合流通センター卸)、本多智土(協)ベイトウ尾道)、中島泰明(協)徳島機織卸商団地)、大谷章介(協)鳥取総合流通センター)、吉原 馨(高知卸商センター)、八頭司正典(協)福岡卸センター)、飯干喬啓(協)延岡卸商業センター)、田代章次郎(有田焼卸商団地)、新業大一郎(鹿児島総合卸商業団地)、新垣信博(沖縄県卸商業団地)
 - 以上30名

- (協)鳥取卸センター)、(協)米子総合卸センター)、(協)益田卸センター)、(協)下関間屋センター)、(協)柳井総合卸センター)、佐世保卸商団地)
 - 以上19組合
 - (個人) 亀井久生子(協)八戸総合卸センター)、児玉光一(協)仙台卸商センター)、辻昭久(協)秋田卸センター)、森田充以(宇都宮卸商業団地)、川岸一義(高崎卸商社)、藤田 治(協)前橋間屋センター)、清水政弘(協)川越パテニング)、不破武久(協)熊谷流通センター)、八木橋 孝、埼玉東卸売卸商団地)、桑原茂幸(上田卸商業)、田中幸一(岡山県流通センター)、光嵩賢一(協)宮城機織卸センター)、西嶋 寛(協)富山間屋センター)、津田純二(大阪船場機織卸商団地)、吉木 学(協)新大阪センター)、角谷英夫(協)盛岡卸センター)、手石幸洋(協)鳥取卸センター)、宮永坪三(協)ベイトウ尾道、原口佳知(協)徳島機織卸商団地)、北 哲也(協)徳島総合流通センター)、金古嘉喜(協)福岡卸センター)、三角征四郎(鹿児島総合卸商業団地)、与那嶺武一(沖縄県卸商業団地)
 - 以上25名
- 【商団連会長表彰】
- (組合) 協機織卸センター、(協)北見総合卸センター)、(協)青森総合卸センター)、(協)仙台卸商センター)、(協)高崎卸商社、(協)前橋間屋センター)、(協)上田卸商業、(協)長野野アークス、(協)富山間屋センター)、(協)高岡間屋センター)、(協)金沢間屋センター)、(協)大坂金物卸商団地、(協)豊岡卸センター)

- 【商工組合中央金庫社長感謝状】
- 全国卸商業団地協同組合連合会 会長 尾池良行 感謝状
- 【商団連会長感謝状】
- (特別功勞者) 宮下正房(公益財団法人流通経済研究所名誉会長、

- 伊藤恒雄(一般財団法人企業共済協会元理事長、森昭弘(中小機構企業連携支援アドバイザー)
- 以上3名
- (組合) 協旭川流通センター、(協)狩野川流通センター)、(協)米沢総合卸売センター)、(協)南東北総合卸センター)、(協)下館総合卸センター)、(協)宇都宮卸商業団地)、(協)所沢卸商業団地)、(協)川岸一義(高崎卸商社)、(協)藤田 治(協)前橋間屋センター)、(協)清水政弘(協)川越パテニング)、(協)不破武久(協)熊谷流通センター)、(協)八木橋 孝、埼玉東卸売卸商団地)、(協)桑原茂幸(上田卸商業)、田中幸一(岡山県流通センター)、光嵩賢一(協)宮城機織卸センター)、西嶋 寛(協)富山間屋センター)、津田純二(大阪船場機織卸商団地)、吉木 学(協)新大阪センター)、角谷英夫(協)盛岡卸センター)、手石幸洋(協)鳥取卸センター)、宮永坪三(協)ベイトウ尾道、原口佳知(協)徳島機織卸商団地)、北 哲也(協)徳島総合流通センター)、金古嘉喜(協)福岡卸センター)、三角征四郎(鹿児島総合卸商業団地)、与那嶺武一(沖縄県卸商業団地)
- 以上25名

去る9月5日(木)、奈良市春日野町の奈良県新公会堂 会議室において、平成25年度第1回商団連事務局長会

平成25年度 第1回 事務局長会開催

古都奈良での開催!!

議が開催された。古都奈良での開催となった。

当日は、北は北海道、南は沖縄の全国各地から57団地の61名が出席した。はじめに、高松市長代表世話人より挨拶が行われ、引き続き地元の奈良県総合卸商業団地(協)日浦清理事長より歓迎の挨拶が行われた。

その後、全員協議会が開かれ、はじめに事務局より平成24年度事業および収支報告が行われ、手塚監事(協)横浜マーチンチャタインジゲン(専務理事)より監査報告がなされ、審議の結果原案通り承認された。続いて、世話人及び監事の補充がおこなわれ、中部ブロックの新世話人には(協)宮織卸センターの森昌宏専

務局長(個人) 玉利平三(鹿児島総合卸商業団地)、成田恭一(協)米子総合卸センター)、齋藤英雄(協)越谷卸センター)、佐々木光男(協)宮織卸センター)、武藤嘉昭(協)長崎卸センター)、冨木昭光(協)茨城県卸センター)、池野和夫(協)盛岡卸センター)、網島才司(木更津総合卸商業団地)、夏川敬三(岡谷卸商業センター)、倉光康雄(協)石狩新港卸センター)、亀井照夫(協)大阪紙文具流通センター)、小竹正一(協)福岡卸センター)、松崎至宏(協)静岡流通センター)、岩崎康弘(協)鳥取総合卸センター)、平井事務局長 昼食をはきみ午後からは、猪瀬安次商団連監事より、「卸団地組合における加入金に関する既存組合員と新規組合員の調整等加入脱退に係る対応策について」の説明が行われた。

既存組合員の持分と新規組合員の持分の公平性を保持し、かつ新規加入者のための負担を軽減するための方策として、現在ほとんどの卸団地組合で採用している定款の持分規程を「改算式」から「加算式」に変更することが、有力な課題解決策になると説明された。

その後、共同事業の成功例、失敗例の事例発表に移り、(協)青森総合卸センターの藤本和夫専務理事より、「保育所計画の取り止めについて」(協)長崎卸センターの笠瀬伸一卸専務理事および長崎卸センターサービス(協)松屋浄部長より、「カーシェアリング」について説明が行われた。

最後に、次回の幹事団地である鹿児島総合卸商業団地(協)清田真事務局長より、「来年鹿児島でお待ちしております」との挨拶が行われた。会議終了後、新公会堂の隣にある、世界遺産に登録されている東大寺を見学した。

会場をホテル日航奈良に移し懇親会が行われた。懇親会には、奥田善則奈良県副知事、森誠康奈良市観光経済部長、出口武男奈良県中小企業団体中央会会長、松岡泰夫奈良商工会議所副会長、山田真也商工中金奈良支店長がご来賓として出席され和やかな歓談が行われた。



事務局長会

「卸団地組合職員研修会」開催

全国から30名参加

25年7月25日(水) 26日(金)の2日間にわたり、東京都千代田区の商工会館において「卸団地組合職員研修会」が開催された。

で世代交代が進み、組合の求心力の低下や組合への帰属意識の希薄化が懸念されており、組合の活性化が求められている。

昨年引き続き2回目の開催である。卸団地においては、設立以来多くの年月を経過し、組合事務局及び組合員企業

の知識・能力の向上を図り、組合員にとって有意義な組合活動を行える人材の育成及び卸団地間職員のコミュニケーションの円滑化を図

ることを目的として実施した。研修会には29団地から30名(男性21名、女性9名)の組合職員が参加した。

研修内容は左記の通り。

グループ討議においては、4人で1つのグループをつくり、8グループに分かれて討議を行った。グループ討議は、メンバーを入れ替えて2回行われ、活発な意見交換が行われた。他の団地的に聞き、意見交換する機会を得て大変参考になった。他団地との情報交換ができてよかったとの感想をいっていた。

受講者に対するアンケート調査の結果、97%が今回の研修に参加して満足と回答しており、参加者全員が次回も参加したいと回答していた。



研修会

各地のブロック会議開催



北海道ブロック

本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景気の現状、成長・創業支援プログラムの等について、それぞれ資料に基づき説明が行われた。

引き続き、団地より現状について活発な意見交換が行われた。

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。

東北ブロック会議

東北ブロック会議は、11月15日に秋田県横手市の協手卸センター会議室において、10団地19名が出席し開催された。

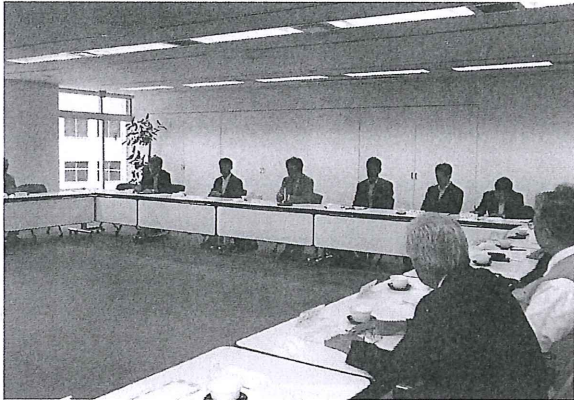
中小企業庁幹部との懇談会

平成25年9月24日(火)、東京都千代田区霞が関の商工会館において、中小企業庁幹部と商団連役員との懇談会が12時30分より開催された。

引き続き、横田次長の挨拶がなされた。その後間もなく長官も到着され、中小企業庁が現在行っている中小企業政策についての説明が行われた。

その後、個人保証、事業承継、消費税に引き上げ等について意見交換が行われた。午後1時30分に懇談会は終了した。

中小企業庁打合せ



中小企業庁の長官が交代された際には、恒例としてこのような懇談会が開催される。今回は、平成25年6月28日付発令の経済産業省人事異動により、中小企業庁長官に北川慎介氏が就任したため開催したものである。当日は、新長官をはじめ6名の幹部にご出席いただき、当連合会側は、尾池会長以下21名の役員が出席した。北川長官は、国会対応の関係で少し遅れるとのことであったため、尾池会長の挨拶

北海道ブロック会議は、9月19日札幌市のセンチュリーロイヤルホテルにおいて、6団地24名が出席し開催された。

会議は守和彦商団連理事(協札幌総合卸センター理事長)の主催者挨拶、来賓紹介につき北海道経済産業局産業部流通産業課酒井哲也課長補佐より北海道経済産業局の重点取り組みについて、独立行政法人中小企業基盤整備機構地域経済振興部高度化事業推進課澤田公徳課長及び同地域振興企画課小島新太郎課長代理より高度化事業の制度改正



東北ブロック

について、同機構北海道本部中島真本部長より北海道

会議は主催者として氏家裕一商団連副会長(協仙台卸商センター理事長、幹事団地として)協横手卸センター多賀泰敏理事長の挨拶、来賓紹介が行われ、協横手卸センター戸田一夫事務局長より卸団地の現状について、豊巻真也氏よりみちのく総合商社について説明が行われた。

引き続き、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部原山正明部長及び同部高度化事業企画課河井豊課長代理より高度化事業の制度改正について、同機構東北本部地域経済活性化推進部小野長三郎部長より東北本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景気状況、成長・創業支援プログラムについて、それぞれ資料に基づき説明が行われ、各団地より活発な質問等意見交換が行われた。

その後、(協仙台卸商セン

関東ブロック会議

関東ブロック会議は、11月5日茨城県筑西市のホテル新東において、13団地19名が出席し開催された。

会議は夏目深商団連副会長の(協)長野アークス理事長の主催者挨拶、幹事団地(協)下館綜合卸センター日向野陽理事長の挨拶、来賓紹介につき(協)下館綜合卸センター藤澤友美事務局長より卸団地の概況、地区計画の導入について説明があり、それについて各団地と意見交換が行われた。

その後、中小企業庁経営支援部商業課安久恵課長補

タテ浅野幸夫事務局長より災害時支援ネットワークの東北モデルについての説明が行われた。

会議終了後、松與会館において懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。



中部ブロック

佐より今後の中小企業・小規模事業者施策について、独立行政法人中小企業基盤整備機構陣山繁紀理事及び高度化事業部高度化事業推進課澤田公徳課長より高度化事業の制度改正について、同機構関東本部戸田直隆副本部長より関東本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景気状況、成長・創業支援プログラム等について、それぞれ資料に基づき説明が行われ、各団地より活発な質問等意見交換が行われた。

引き続き、各団地より現状について活発な意見交換が行われた。

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。

会議終了後、同旅館において懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。

近畿ブロック会議は、12月4日大阪市のメルパルク大阪において、12団地23名が出席し開催された。

会議は尾池良行商団連会長の(大阪船場織維卸商団地)代表理事会長の主催者挨拶、幹事団地大阪金物団地(協)高橋由紀子理事長の挨拶、来賓紹介につき中小企業庁経営支援部商業課島山一成課長より中小企業・小規模事業者政策、消費税転嫁対策等について、大阪府商工労働部商業・サービス産業課宮崎豊課長補佐より大阪府の施策等について、独立行政法人中小企業基盤整備機構陣山繁紀理事及び高度化事業部高度化事業推進課澤田公徳課長より高度化事業の制度改正について、同機構中部本部元木茂審議役より中部本部の活動について、同機構北陸本部細引淳一本部長より北陸本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景気状況、海外展開支援について、それぞれ資料に基づき説明が行われた。

引き続き、各団地より現状について活発な意見交換が行われた。

近畿ブロック会議

中四国ブロック会議は、11月21日徳島市のホテルクレメント徳島において、12団地25名が出席し開催された。

会議は福井弘商団連副会長の(協)ベイタウン尾道理事長の主催者挨拶、幹事団地(徳島島織維卸団地)多田孝啓理事長の挨拶、来賓紹介につき独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部原山正明部長及び同部高度化事業推進課宮本有也課長代理より高度化事業の制度改正について、同機構四国本部企画調整部鈴木久雄部長より四国本部の活動について、同機構中国本部経営支援部地域振興課安部隆久部長より中国本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景気状況、ビジネスマッチングについてそれぞれ資料に基づき説明が行われた。

引き続き、各団地より現状について活発な意見交換が行われた。

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。

化事業の制度改正について、同機構近畿本部森田一也審議役より近畿本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部山本聡部長及び同部高橋聡審議役より景気状況、成長・創業支援、海外展開等について、資料に基づいて説明が行われた。

引き続き、各団地より現状について活発な意見交換が行われた。

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。

中四国ブロック会議



中四国ブロック

九州ブロック会議は、11月28日福岡市の(協)福岡卸センターにおいて開催された。

会議は小正芳史商団連副会長(鹿児島総合卸商業団地)理事長の主催者挨拶、幹事団地(協)福岡卸センター八頭司正典理事長の挨拶、来賓紹介につき独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部原山正明部長、同部高度化事業推進課河原誠課長代理より高度化事業の制度改正について、同機構九州本部河上高廣本部長より九州本部の活動について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部原田芳憲上席審査役より景気状況、海外展開支援について、それぞれ資料に基づき説明が行われた。

引き続き、各団地より現状について活発な意見交換が行われた。

会議終了後、ヒルトン福岡シーホークにおいて懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。

九州ブロック会議

引き続き、各団地より現状について活発な意見交換が行われた。

会議終了後、同ホテルにおいて懇親会が行われ、和やかな歓談が行われた。



関東ブロック

中部ブロック会議

中部ブロック会議は、11



近畿ブロック



九州ブロック

各地区の催し

関東甲信越・東北 連絡協議会交流会 開催

4回目の開催。幹事団地は(協)横浜マーチャングレインセンター

関東甲信越・東北連絡協議会の交流会が10月4日(金)横浜市のロースホテル横浜において午後2時より開催された。仙台(幹事・協)仙台卸商センター、埼玉(幹事・埼玉卸商センター)、秋田(幹事・協)秋田卸商センター)に引き続き4回目の開催となった。

関東甲信越 連絡協議会

関東甲信越連絡協議会幹事会が、10月4日(金)、横浜市のロースホテル横浜において午前二時より開催された。幹事団地は(協)横浜マーチャングレインセンター、当日は、18団地22名が出席し、平成24年度事業報告及び収支報告、平成25年度事業計画及び予算案について審議された。来年度の幹事団地は(協)梨真流通センターに決定した。組合の求心力強化について活発な意見交換が行われた。

東北卸商業団地 連絡協議会

東北卸商業団地連絡協議会の平成25年度通常総会が、平成25年7月12日(金)、ホテルロイヤル盛岡において開催された。

中部地区卸商業団地 事務局協議会

中部地区卸商業団地事務局協議会の平成25年度通常総会が、平成25年7月12日(金)、(協)富山問屋センター(富山流通会館)において開催された。

神奈川県卸商業団地 組合協議会

神奈川県卸商業団地組合協議会の第23回定期総会が、平成25年7月19日(金)、横浜元町霧笛楼において開催された。

会員団地 記念式典開催

大阪船場繊維卸 商団地(協) 組合創立50周年

大阪船場繊維卸商団地(協)(会長 尾池良行氏、理事長 光井良治氏)の組合創立50周年の記念式典・祝賀会が、平成25年11月19日(火)リーガロイヤルホテルにおいて開催された。

(協)山形流通団地 組合創立40周年

(協)山形流通団地(理事長 三浦修氏)の組合創立40周年の記念式典・祝賀会が、

(協)帯広卸売センター 組合創立50周年

(協)帯広卸売センター(理事長 塩野谷和男氏)の組合創立50周年の記念式典・祝賀会が、平成25年10月10日(木)、北海道ホテルにおいて開催された。

(協)長野アークス 団地開設40周年

(協)長野アークス(理事長 夏目潔氏)の団地開設40周年の記念式典・祝賀会が、平成25年7月2日(火)、犀北館ホテルにおいて開催された。

平成26年度卸商業団地機能向上支援事業

平成26年度公募について

(予告)

平成26年度卸商業団地機能向上支援事業については、例年通り平成26年2月中旬から3月中旬にかけて公募が行われる予定です。この支援事業は、卸商業団地における施設の建て替えや新規立地への移転等の団地再整備、各種共同事業の再構築等による機能強化など、団地機能を向上させるために行う事業を実施するために、必要な調査研究、事業化調査、基本計画

- ・ 詳細計画策定、システム開発などの費用の一部を助成するもの。
- ・ 現在延べ58団地が活用(約6億円)しております。
- ・ 助成金額は助成対象経費の額に比し、4/5(1/2)となっている。
- ・ 助成対象経費のうち1、250万円以下の部分：4/5
- ・ 助成対象経費のうち1、250万円超4、250

- ・ 万円以下の部分：助成対象経費から1、250万円を減じた金額の2/3
 - ・ 助成対象経費のうち4、250万円超の部分：助成対象経費から4、250万円を減じた金額の1/2
- 是非この機会に卸商業団地機能向上支援事業を積極的に活用し、団地再整備の一助にしたいだけだとお思います。

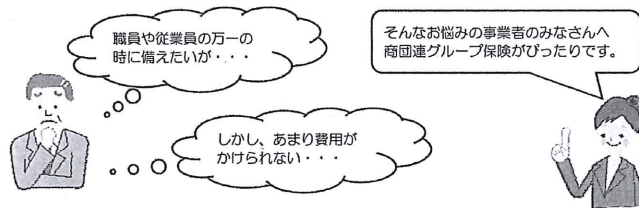
編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は、店舗等集約化制度創設50周年という大きな節目の年でした。記念式典の開催にあたりましては、多大なご協力をいただき誠に

にありがとうございました。今年にはまた新たな気持ちで職員一丸となり、「信頼と絆」を合言葉に、会員の皆様の一助となる活動を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。今年のご意見・ご要望をお寄せください。

馬は「物事がうまくなる」「幸運が駆け込んでくる」などのように、縁起のいい動物といわれています。新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いたします。(K・H)(馬)です。

商団連グループ保険(会社掛)のご案内



職員や従業員の万が一の時に備えたいが...

そんなお悩みの事業者のみなさんへ商団連グループ保険がぴったりです。

しかし、あまり費用がかけられない...

パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階 TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

手厚い保障 病気死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害 不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

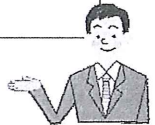
加入資格 組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々に健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

手頃な掛金 例)40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合 ひと月の掛金は282円

掛金の扱い 掛金は、会社負担となり福利厚生費として全額損金に算入できます。

*他にも商団連独自の見舞金制度もあります。

ご加入年齢	病気死亡・高度障害保険金
15歳~70歳	100万円~1,000万円



商団連グループ保険(ファミリープラン)のご案内

お手頃な掛金で病気死亡、不慮の事故による障害、入院にいたるまで幅広く保障

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々と、そのご家族で健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

商団連独自の「見舞金制度」もあります。

ご家族のために「あと少しの保障がほしい!!」とお考えの方にオススメです。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階 TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社

ご加入例 病気死亡・高度障害保険金200万円の場合

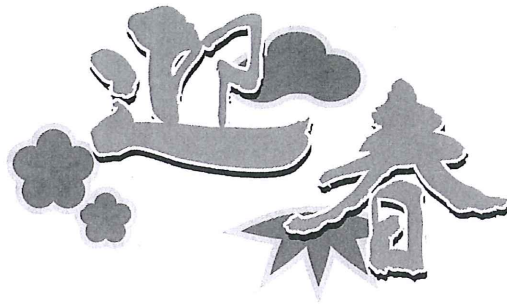
保障内容	金額
病気死亡・高度障害	200万円
不慮の事故による死亡・高度障害	300万円
不慮の事故による障害	最高70万円
不慮の事故による入院	1,500円(1日につき)

ご本人さま40歳	564円	配偶者さま40歳	481円	お子さま10歳	310円	お子さま8歳	310円	ご家族合計	1,665円
----------	------	----------	------	---------	------	--------	------	-------	--------

パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局(03-3591-1251)までお問い合わせ下さい。

会員所在地略図

(○印内の数字は、下表会員ナンバーです)



商団連会員名簿 (順不同)

37	(協)東京ベ・マルシェ	36	(協)木更津総合卸商業団地	35	(協)茂原卸商業団地	34	(協)船橋総合卸商業団地	33	(協)千葉総合卸商業団地	32	(協)越谷卸センター	31	(協)埼玉県南卸売団地	30	(協)熊谷流通センター	29	(協)所沢卸商業	28	(協)前橋問屋センター	27	(協)高崎卸商業	26	(協)宇都宮卸商業団地	25	(協)栃木卸センター	24	(協)土浦総合流通センター	23	(協)下館総合卸センター	22	(協)会津若松卸商団地	21	(協)南東北総合卸センター	20	(協)福島卸商団地	19	(協)酒田流通センター	18	(協)山形流通団地	17	(協)米沢総合卸売センター	16	(協)横手卸センター	15	(協)秋田卸センター	14	(協)仙台卸商センター	13	(協)盛岡卸センター	12	(協)八戸流通センター	11	(協)青森卸売業	10	(協)八戸総合卸センター	9	(協)青森総合卸センター	8	(協)石狩新港卸センター	7	(協)旭川流通センター	6	(協)北見総合卸センター	5	(協)帯広卸売センター	4	(協)札幌総合卸センター	3	(協)札幌総合卸センター	2	(協)札幌総合卸センター	1	(協)札幌総合卸センター
74	(協)米子中央食品卸売団地	73	(協)米子総合卸センター	72	(協)鳥取卸センター	71	(協)加古川卸団地	70	(協)神戸船用品センター	69	(協)阪神総合卸商業団地	68	(協)豊岡卸センター	67	(協)奈良県総合卸商業団地	66	(協)大阪南港中古自動車	65	(協)大阪南港鉄鋼流通	64	(協)大阪メルカート	63	(協)大阪紙文具流通センター	62	(協)大阪機械卸業団地	61	(協)新大阪センシティ	60	(協)泉州卸商業団地	59	(協)大阪船場繊維卸商団地	58	(協)大阪金物団地	57	(協)彦根百貨卸商業	56	(協)福井問屋センター	55	(協)金沢問屋センター	54	(協)高岡問屋センター	53	(協)富山問屋センター	52	(協)津卸商業センター	51	(協)松阪卸センター	50	(協)高山卸商業センター	49	(協)一宮繊維卸センター	48	(協)静岡流通センター	47	(協)沼津卸商社センター	46	(協)浜松卸商センター	45	(協)山梨県流通センター	44	(協)松本流通センター	43	(協)長野アークス	42	(協)上田卸商業	41	(協)新潟卸センター	40	(協)川崎卸センター	39	(協)横浜マーチャングインセンター	38	(協)小田原卸商業団地
104	沖繩県卸商業団地	103	鹿兒島総合卸商業団地	102	熊本流通団地	101	(協)唐津総合卸センター	100	有田焼卸団地	99	(協)延岡卸商業センター	98	(協)長崎卸センター	97	(協)佐世保卸団地	96	(協)久留米繊維流通センター	95	(協)福岡卸センター	94	(協)高知卸商業センター	93	(協)松山卸商業センター	92	(協)徳島総合流通センター	91	(協)徳島木材卸商業団地	90	(協)徳島繊維卸団地	89	(協)徳山卸商業団地	88	(協)柳井総合卸センター	87	(協)下関問屋センター	86	(協)広島総合卸センター	85	(協)三次総合卸センター	84	(協)呉食料品卸センター	83	(協)福山卸センター	82	(協)ベイタウン尾道	81	(協)岡山県総合流通センター卸	80	(協)岡山機工センター	79	(協)津山卸センター	78	(協)松江流通センター	77	(協)浜田卸商業	76	(協)益田卸センター	75	(協)松江卸センター														

平成25年10月31日現在